



浜家連 ニュース8月号

第288号
2024年8月1日発行

発行人 特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会
事務局 〒222-0035 横浜市港北区烏山町 1752 番地
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3階
電話 045(548)4816・FAX 045(548)4836
URL <https://hamakaren.jp/>

いつも明るく楽しく元気よく、あなたらしさを大切に 副理事長 菅野 義矩

この度6月より副理事長を務めることになりました菅野義矩です。宜しく
お願い致します。

私も小さい時から一緒に生活していた叔母（母の妹）が、精神と知的障害
で、地域でいろいろありましたが、自分は叔母が大好きで、いつも叔母にべ
ったりくっついていました。周りからは本当に良くからかわれましたが、叔
母が自分を良く守ってくれましたよ！



叔母が亡くなって、かなりの年令になってから家内と結婚し、生まれた娘と息子もいろい
ろと抱えていました。かなり大きくなってから家内の実家が新潟の柿崎にあり、そこで父・
母・兄3人がもともと農業をやりながら（兄は高校の数学の先生）生活をしていましたが、
ある時から父は認知症に、そして兄は統合失調症になり、母はしばらくしてから亡くなりま
した。横浜の我が家に父と兄を引き取る事にしました。その後いろんな事がありました。た
だ良かったのは、自分も障害のある叔母に育ててもらったという事で、障害を持った家族の
生活が普通でしたから「何かあっても当たり前！負けるもんか！」でしたね。

そんな事もあり政治にかかわりながら、自分でもある時「認知症のお年寄りのグループホ
ームと精神知的障害の人達のグループホームをやろう！」と思いたち、当初はNPO法人で
立ち上げ、今はお陰様で社会福祉法人となりグループホームを4ヶ所創って頑張っています。

“いつも明るく楽しく元気よく、あなたらしさを大切に”

をテーマに、みんなで必ず毎日笑顔が出る様に頑張っています。

これからも宜しくお願いします。

浜家連の動き



- ◆ 6月から横浜市会各派の議員団と要望書の提出及び懇談会を行っていま
す。自由民主党、日本共産党との懇談会ついて報告が届いています。



自由民主党横浜市議団への要望事項提出と懇談会に同行して（報告） たちばな NM

2025年度横浜市の予算編成に向けて、自由民主党へ要望事項の提出と懇談会が市庁舎内
にある横浜市議会会議室で行われました。

要望事項の主な内容は、①精神障害者手帳 1 級所持者にも入院費用を無料に②「にも包括」
の構築推進を③精神科病院入院患者の人権擁護の徹底、④各区福祉保健センターの MSW の増
員を⑤鉄道駅ホーム柵の設置促進⑥診断書の無料化等未だ実現していない昨年同様の要望事項
でしたが、新たに家族学習会運営費の増額、精神障害者への差別的条例の撤廃等新たな要望も
行いました。

自由民主党からは①鉄道駅ホーム柵設置促進ばかりではなく所謂開かずの踏切の解消を働きかけてはどうか②事務所の2階が精神障害者のGHなので、身近に皆さんの家族と接しているなどの発言がありました。

要望事項説明会に同行して感じたことは、何年も同様な要望をしているのになぜ要求が実現していないのかということです。横浜市の財源不足なのか、制度改正が出来ない理由があるのか、横浜市のみでは実現できず多くの関係者がいるので時間がかかっているのか、あまりにも要望事項が空想的なので要望が通らないのか、社会的に理解が足りないのか、党の方針に合わず取り合ってもらえないのか、いろいろな要素があるのでしょうか。今後とも要望した制度の実現や予算措置を関係機関、関係者に働きかけなくてはなりません。また、当然ランク付けはされているのですが、①優先的に実現したい要望に的を絞る②所管機関に直接要望していく③社会に向けて啓発を進める等メリハリを付けて活動、要望をしていかなければならないのでしょうか。

令和7年度予算編成に対する日本共産党横浜市会議員団あて要望書提出に同席しました。 いずみ会 山田秀人

懇談日時：令和6年6月20日（木）午前10時～午前11時

懇談場所：横浜市議会棟委員会室

経緯内容：井汲理事長から今回提出される要望事項の背景にある精神障害の実情について概要が話されたのち全15項目にわたる要望事項を各項目ごとに参加者から説明がなされました。具体的なエピソードを交えた説明に古谷議員団長から「心苦しい気持ちでいっぱいです。すべてがまっとうな要望であり、党としても真剣に取り組んでいきたい。」他の議員の方からも同様の趣旨の発言が聞かれました。最後に古谷議員団長から「私たちも頑張りますが、家族会の方からも国や市あてに直接要望を出されてはいかがでしょうか」との発言がありました。



出席感想：共産党の市会議員（5人）全員の出席のなかで行われた懇談会でした。家族会の要望にじっと耳を傾けている姿がとても印象的でした。実現への道のりは遠くても諦めずに要望を継続して発信していくことの大事さと希望を感じる懇談会でした。初めての参加でしたが出させて頂いてよかったですと思っています。

家族による家族学習会「担当者研修会 in 横浜」が開催されました。

◆ 7月1日(月)ラポール2階大会議室にて「家族学習会 担当者研修会 in 横浜」が開催されました。その報告が届いています。

「家族による家族学習会担当者研修会」に参加して さかえ会 水越春彦

7月1日、新横浜ラポールで行われた「家族による家族学習会担当者研修会」に参加しました。家族学習会には、前は「参加者」として初めて参加しましたが、今年は「担当者」として参加することになり研修を受けました。

研修会では、個人情報管理の適切な管理や家族学習会の担当者としての心構え、家族学習会の進め方などを学びました。また、研修会に参加された経験豊富な皆様方の体験談などもたいへん参考になりました。

この研修会で学んだことを活かして、参加者の皆様が参加して良かったと思えるような家族学習会にしていきたいと思えます。

また、家族学習会に関わらせていただくことで、自分自身が一步前に進むための足掛かりとし、より成長していけるようにしていきたいと思えます。



家族による家族学習会担当者研修会に参加して

さかえ会 永倉和枝

今年度10月からDブロック家族学習会を開催する為、担当者研修会に参加しました。私は数年前にさかえ会では担当者として参加した事はありませんでしたが、久しぶりなので新たな気持ちで参加させていただきました。

リーダー、コリーダーのむすかしさ、家族自身に焦点を当てた対応である「ゆで卵理論」の実践など、グループワークでは、担当者も参加者も家族という同じ立場なので共感して話がはずみ、「ゆで卵理論」の大切さも改めて理解できました。

この学習を忘れないようにDブロック家族学習会でも実践でき、参加者の方には最終回には参加してよかったと思って頂ける会ができるように準備をして臨みたいと思います。

担当者研修会の準備をして下さった皆様、お疲れさまでした。

市民メンタルヘルス講座 2024年度年間計画表

開催場所：横浜市健康福祉総合センター4階ホール

時間：13:30～16:00

開催日	内容・テーマ	講師
第1回 9月28日 (土)	こころに効く精神栄養学 ～発症・再発を防ぎ 回復を助ける生活習慣とは～	功刀 浩氏 精神科医 帝京大学医学部 精神神経科学講座 主任教授
第2回 10月26日 (土)	薬・減薬「減薬という旅のかなたに」 ～学ぶことで薬を減らそう～	小林 和人氏 精神科医 医療法人山容会 山容病院医師 (山形県酒田市)
第3回 11月16日 (土)	当事者の生きづらさから、リカバリーや家族 の対応の仕方を考える	宇田川 健氏 コンボ代表理事 鈴木 みずめ氏 ピアサポーター
第4回 12月7日 (土)	第4回市民メンタルヘルス講座 法律から見た家族の脱家族化	塩満 卓氏 佛教大学社会福祉学部 社会福祉学科教授
第5回 2025年 1月26日 (日)	若い人、思春期の精神疾患について	夏苺 郁子氏 児童精神科医 やきつべの径診療所

単会からのたより

作業所のとある夏の日 青いとり作業所 施設長 山畑 佑介

夏もいよいよ本番、空の青さに心が躍ります。今年も青いとり作業所では「この暑さはヤバいですね！」と冗談を交わしながら、笑いあう様子が随所に見られます。

利用者の皆さんは、日に日に増す暑さや日々の様々な生きづらさにも負けず、それぞれのペースで作業所に通ってくださっています。そのひたむきな姿に、私自身が励まされ、元気をもらっています。そんな青いとりの夏を幾度も経験し思うことは「少しずつ、でも確実に、物事は変わってゆくのだなあ」ということです。

この十余年、就労支援制度が目に見えて充実し、就労移行支援事業所などの「就労」にまつわる社会資源が増えました。障害者総合支援法の法改正では、「就労定着支援」の創設に続き、



不幸なマッチングの防止や、より安心して働き続けられる仕組みとして「就労選択支援」の創設が行われました。また、今期の浜家連事業計画においても、就労支援事業における支援施策の整備を行政に求める旨の課題が掲げられています。

このように就労の機会が大きく広がっていく中、青いとり作業所としての「地域活動支援センター」へのニーズが再び高まっているように感じています。

精神科デイケアによるプログラムや、就労支援に特化した事業所の取り組みに対し、地域活動支援センターはそれらの合間に位置する形でニーズに応えられる場所です。青いとり作業所においては、居場所づくりや就労へのステップアップ、生活リズムを整えるためや、社会性を育むためなど、個々に異なる目的や状況にある皆さんが作業やプログラムを通じて関わり合い、協力し合っています。時には人間関係で摩擦が生じることもあれば、思いがけない成功体験や喜びを分かち合う経験を得ることもあります。このように広く柔軟に様々な経験ができる場所であることが、昨今のニーズの高まりの要因かもしれません。

青いとり作業所では、皆さんそれぞれが想いを持って生活しており、つらい中でも支え合いながら少しずつ前進しています。変わりゆく制度や環境、時代の中で立ち止まることもあれば、大きく前進を成し遂げることもあります。そして、そこかしこで笑い声が聞こえ、笑顔が溢れています。それは十年前も変わらない情景です。まだ右も左もわからない新米支援員だった頃の初夏、私を助けてくれたのはそんな青いとり作業所の優しい空気でした。

なんて、普段はそのようなことを考える余裕もなく、利用者さんや職員ともに目まぐるしくも楽しい日々を送っています。しかし、ふとした瞬間に「でも、変わってほしくないこともあるなあ」と、しみじみ感じるノスタルジック？な気持ちはここだけの秘密です。長文、駄文失礼いたしました。今後ともどうぞ青いとり作業所をよろしくお願い申し上げます。

§ イベント情報 §

◆ 2024年度 第1回 市民メンタルヘルス講座 ◆

こころに効く栄養学

～発症・再発を防ぎ、回復を助ける生活習慣とは～

科学的に解き明かす 心・食事・運動の関係

日 時：2024年9月28日（土）13：30～16：00

場 所：横浜市健康福祉総合センター4 階ホール

講 師：功刀 浩氏（精神科医）

帝京大学医学部 精神神経科学講座 主任教授

入場無料 定員 300名（先着順）

Zoom 定員50名 事前申し込み必要



◆ 元気なうちに考えよう！「グループホームのお話」 ◆

日 時：8月2日（金）14:00～15：30

場 所：かながわ県民センター会議室 15 階 1502

講 師：スターホーム株式会社 鈴木 達巳氏

※事前申し込みが必要です。Tel 045-534-8227

【編集後記】先日行われた東京都知事の選挙、現職の小池知事と蓮舫氏の一騎打ちになると思われましたが、元安芸高田市市長石丸伸二氏が2位に入る予想外の結果となりました。石丸氏はSNSやX（旧ツイッター）を駆使して選挙を行ったとか。また、掲示用の看板をビジネスに利用したとの騒動もありました。これからの選挙はどうなるのか、SNSやXをほとんど見ない者は「カヤの外」に置かれてしまうかもしれない。

事務局 中居